



令和3年4月13日
総合政策局国際政策課
(グローバル戦略)

日ASEAN相互協力によるスマートシティ支援策“Smart JAMP”の 案件形成調査を開始しました！

～第1号としてラオス・ルアンパバーン市でのマスタープラン調査を開始します～

昨年12月に開催された日ASEANスマートシティ・ネットワーク(ASCN)ハイレベル会合において、日本側より新たに「日ASEAN相互協力による海外スマートシティ支援策(Smart JAMP)」を提案し、その一環としてASEAN各都市を対象としたスマートシティの具体的な案件形成調査を実施することとしています。その案件第1号として「ルアンパバーン市におけるスマートシティ開発のためのマスタープラン調査」を開始することとなり、4月9日(金)にラオス・ルアンパバーン市との間でキックオフ・ミーティングを行いました。

本ミーティングにおいては、調査に対して必要な協力をすることや、新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインを主として調査を進めていくこと等について確認し、国土交通省とルアンパバーン市両者で確認書面(ミニッツ)に署名を行いました。この調査により、来年3月末までの約1年をかけて、スマートシティのマスタープランを策定する予定です。また、意見交換のセッションでは、ルアンパバーン市から、日本のスマートシティの取組に対する高い期待が示されました。

ルアンパバーン市とのキックオフ・ミーティング

- (1) 日程：令和3年4月9日(金) 16:00～19:30(日本時間)
- (2) 形式：オンライン
- (3) 出席者：〈日本側〉国土交通省(小野寺参事官 他)、JICA、UR都市機構、調査団((株)オリエンタルコンサルタンツグローバル) 他
〈ラオス側〉ルアンパバーン市(ハットサチャン市長他)、ラオス国外務省他
- (4) 結果概要

国土交通省の小野寺参事官とハットサチャン・ルアンパバーン市長両者で確認書面(ミニッツ)に署名を行い、マスタープラン調査の開始を確認した。ミーティングにおいては、調査団からの調査方法・方針等の説明の後、関係者を交え、今後策定するマスタープラン、同市におけるスマートシティの在り方等についての闊達な意見交換を行った。



ハットサチャン・ルアンパバーン市長(左)と小野寺参事官(右)による署名の様子

〈問い合わせ先〉

国土交通省 総合政策局 国際政策課(グローバル戦略) 永野、田村(内線25213、25224)
TEL 03-5253-8111、03-5253-8314(直通)、FAX 03-5253-1562